

入学式

令和3年4月8日（木）

戸川校長先生の式辞



新入生の誓いの言葉



在校生の歓迎の言葉



新入生から挨拶



入学式後の集合写真

全校生徒



担任の先生と



新入生歓迎会

4月30日（金）

今年の新入生歓迎会は、ソフトバレーを行いました。



第1位



第2位



第3位

思春期体験学習

5月27日（木）

湯浅保健所の方を講師に迎え、思春期のこころとからだなど、性に関する正しい知識について学びました。妊婦体験、赤ちゃん抱っこも経験しました。



森林ウォーク（春）

森林の学びを深めています

私たちは 総合的な探究の時間「SIMIZU タイム」（高1 学年）で、1・2 学期を通して京都大学・有田川町・有田川林業活性化協議会のご協力をいただきながら、森林について学んでいます。今回は6月2日の森林ウォーク（春コース）について、京都大学のご協力をいただき、有田川町清水にある研究林を訪問し、学びました。森と人とのつきあい方をもう一度見つめ直し、五感「色・音・におい・手触り・味」で感じることで、森は多くのことを伝えてくれました。



倒木から次の世代が出てきます



木の温度を感じます



根の張り方がわかりました。でもこの木は倒れても生きています



植樹を学びました

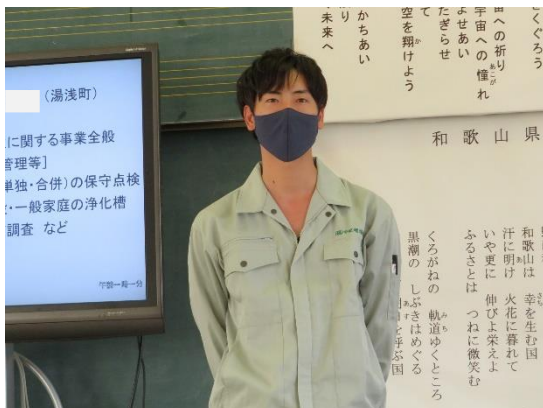


森林のお話です

進路LHR 卒業生による『語る会』

6月11日(金)

清水分校の卒業生から進路についての体験談等を『語る会』を開催しました。平成27年度の卒業生、池田誠さん〔(株)坂口製作所〕、宮尾嘉貴さん〔(協)中紀環境科学〕が来校し、ご自身の高校生活や進路決定についてのお話をしていただきました。生徒は熱心に耳を傾けていました。



森林ウォーク（秋） 森林の学びを深めています

10月20日（水）総合的な探究の時間「SIMIZU タイム」（高1学年）：森林ウォーク（秋）を実施しました。今回も、京都大学フィールド科学教育研究センターのご協力をいただきながら、森林について学びました。今回は、「人の暮らしと森林」について、森林資源の守り方や活用方法について、実地研修と講義を交え学習しました。作業道から見てきたこと、間伐の重要性、人工広葉樹林の新たな取り組み、林業の未来等、SDGsの考え方も含め、私たちが林業を通して見てきた大切なことを学び、体感しました。



左：天然林



特殊な巻き尺を使い、木の直径を測っています



山の地層の様子を観察しました。黒い縦筋が水の通る層です。

根の張り方を観察しました



ミズナラの大木です。直径が120 cm あります。

人工広葉樹林です。山桜・クリ・ミズメ・ブナ・ケヤキ等を植えています



中・高「合同体育」

10月28日(木)に八幡中学校との「合同体育」を実施しました。例年、両校で合同運動会を行っていましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、行うこととなりました。

内容は3チームに分かれ、「enjoy fishing」、「八幡卍會入会試験」(障害物競走)、「二球入魂」(玉入れ)、「チーム対抗リレー」等を行いました。中学生と協力しながら、一生懸命がんばっていました。また、これら以外に中学生は授業で取り組んでいたダンスを、八幡小学校の5・6年生は、太鼓を披露してくれました。

みんなは勝敗に関係なく、最後まで諦めない気持ちで取り組み、充実感と爽快感に満ち溢れていた姿が印象的でした。



文化祭

11月19日（金）

令和3年度文化祭を清水分校にて開催しました。コロナ禍で学校行事が中止あるいは縮小する中、生徒全員で企画準備を行いました。午前は学年別学習発表、ギターの弾き語り、ダンス、宝さがし、インスタ映え、午後は全員参加のイベントで、紙ヒコーキコンテスト、クイズDEビンゴを行いました。そしてさまざまな作品の展示も行いました。毎年、文化祭で行う模擬店、餅まきについては、今年も実施することができませんでした。

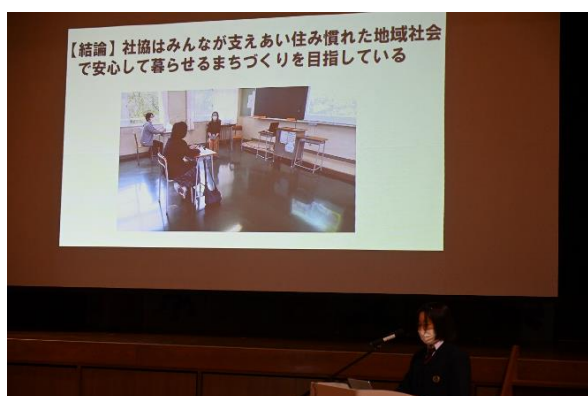
生徒の発表・作品展示は素晴らしいものに仕上がりました。



1年発表



2年発表



3年発表



ギター弾き語り



展示作品鑑賞



ダンス発表



インスタ映え



紙ヒコーキコンテスト



クイズ DE ビンゴ



表彰式

令和三年度 租税教室

令和4年2月3日（木）実施

1・2学年を対象に租税教室を実施しました。租税の意義や役割について正しく理解すること、将来、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、社会や国の財政について主体的に考えるという自覚を育てることを目的に、毎年開催しています。

税の種類や私たちの生活に税がどのように関わっているのかについて学習し、『もし税がなかったら？』どうなるのか、国の財政はどうなっているのか等について理解を深める良い機会となりました。



使用教材：「私たちの生活と財政の役割」（和歌山県租税教育推進連絡協議会） 他